

2024年

『相沢良碑前祭』のお知らせ

◆とき 5月11日(土) 午前11時
 ◆ところ 青森市浪岡 西山展望台



1986年5月18日

顕彰碑除幕式が行われました。

相沢 良は、戦前、主権在民と反戦の運動に身を投じ、拷問と獄中生活による病気で25歳8ヶ月の短い生涯を閉じた女性です。

多くの皆さんの参加をお待ちしております。いま、「再び戦争と暗黒政治」を許すなの思いを語り合いましょう。

『相沢良を語り継ぐつどい』による相沢良碑前祭を5月11日に行う予定です。

相沢 良は、戦前、主権在民と反戦の運動に身を投じ、拷問と獄中生活による病気で25歳8ヶ月の短い生涯を閉じた女性です。

いつだろう。
 二共、今はいない▼戦争が地球からなくなるのは、
 いつも生きるうちに直接
 聞いておかねばと録音した。

(一)



No. 598

編集発行人 田中幹夫
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 〒113-0034
 東京都文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター全労連会館内
 電話 03-5842-6461
 FAX 03-5842-6462
 振替 00110-6-97793
 定価 50円

青森県版

2024年4月15日発行

第382号

〒030-0904
 青森市茶屋町11番5号
 TEL 017-718-3166
 FAX 017-718-3167

青森県本部



いつ戦争は

▼「戦争が無くなる
 に、後、二百年か
 かるか?」
 どなた
 かが述べた言葉が

思い出される▼小さい頃、
 家に『だいじなもの』があつた。
 ゲートルとU.Sマークのスプーン。オヤジが北支

とフリリピン、二度の出征で生きて持ち帰った▼母は♪勝つてくるぞといさましく♪を教えた。山の中で

食うものがなくて、道端に倒れている日本の兵隊・顔だのさウジたがつていだ。アーリカのホリヨになつて、見る見る太つたど。その時

のスプーンだ。何度、死に目にあつたもんだが▼オヤジから生きてるうちに直接聞いておかねばと録音した。

二人共、今はいない▼戦争が地球からなくなるのは、

II 再録 II

(2) 青森県版 一〇一年十一月十五日第三三三号掲載
 (3) 青森県版 一〇二一年一月十五日第一三五号掲載

連載

治安維持法犠牲者紹介 (2)

岩渕謙二郎



岩渕謙二郎は、明治三十六年(一九〇三)車力村に生まれる。

法政大学に在学中、社会科学学生事件に連座して退学、帰郷したが、社会主義者の集まりである建設者同盟の運動を通じて農民運動に関心を持ち、兄謙一と協力、大正十三年車力村に六十人の小作人をもつて県下初の農民組合をつくる。大正十四・十五年、大沢久明らと秋田県小坂鉱山争議で活躍。

車力農民組合は、十三湖の

塩水害による米の減収から小作料減額を要求、それ以後、西北地方を中心に、小作争議が頻発した。

当時、小作料全国平均五〇・六%なのに、北郡は七五・八%と高く、加えて新たに地主から小作する時一年分の小作料を前納する前作米、他に一年分の小作米を四年に一回礼米として計算するという制度を課せられていたから農民の生活は慘憺たるものだった。

兄謙一が、「私は医師として本当に良心を持つて病気を治そうとするなら、この薬棚に沢山の卵や肉や正油、味噌、米を積んで置かなければ一日も勤まらないと気付いた時、謙二郎のやっている農民解放の闘いが正しいと確信した」と語る状況であった。

大正十三年、岩木川氾濫で

収穫皆無の中で起こった小作料減免運動は、遼原の火のように、全県に農民組合が結成され、小作争議は広がって行つた。そのため昭和二年岩渕兄弟は車力村を追われる事になる。

しかし、ひるむことなく、全県の農民組合を結成し、謙

二郎は書記長(委員長淡谷悠蔵)として先頭に立ち、相次ぐ凶作、水害に対処し、昭和十年政府米無償交付を決議、十一月西郡の農民を動員し県庁に押しかける計画をすすめたが、岩渕ら幹部は総檢査を受けた。

連載

治安維持法犠牲者紹介 (3)

工藤永蔵



一九三一年

(昭六)九月

十四日警視庁により検

挙、十一月

十一日起訴。

東大新人会の工藤永蔵だ。「赤旗」地下印刷所の責任者として三十年から三十一年まで、「赤旗」三十三号から四十四号を発行した。

地下印刷局を守るために、絶えず第二、第三の場所を準備しなければならなかつた。

東京・五反田の太宰治の下宿を借りて印刷したのが「三・一五記念特集号」であつた。およそ一年の任務を終えて東京地区委員会のオルグとして活動を始めた矢先、特高警察に会議の会場に踏

み込まれ、三年間の獄中生活を強いられた。

彼が新城駅から旧制弘前高校へ通学していた時、浪岡駅から弘前の東奥義塾に列車通学していた四歳年下の古村哲夫に社会科学の手ほどきをし、二十七年東大に進学してからも、帰青するたびに哲夫に会つて東京の状況を伝えていた。秋田雨雀から学ぶ日曜会で知り

治安維持法とは

治安維持法は、一九一七年のロシア革命の影響は全世界に広がり社会主義運動の高揚時期を迎えるなか一九二二年七月十五日に結成された日本共産党の弾圧・解体を目指して制定されました。また、普通選挙法とセットで成立させた背景には、合法政党とはいえ無産政党が議会に進出すること

を脅威とみていましたからです。治安維持法違反の疑いがあるものは片つ端から警察署に連行しました。その人がどう思つてゐるかは外から拷問・凌辱によつて自白を強要するということが平然と行われていました。

作家小林多喜二が過酷な拷問によつて虐殺されたことは当時の天皇制政府と治安維持法の残酷さを示すものです。

永蔵は戦後いち早く活動を再開し、新城村に党細胞を結成。四七年には党員村長中村勲誕生に尽力している。一九九八年一月二十五日死去。九二歳だった。

永蔵は戦後いち早く活動を再開し、新城村に党細胞を結成。四七年には党員村長中村勲誕生に尽力している。一九九八年一月二十五日死去。九二歳だった。

合った東京女子医専の相沢良に頼んで「無産者新聞」や「戦旗」の配達ルートを確立してもらつて、哲夫にも届けられていた。



私が出会つた子どもたち……⑥

『尚治（仮名）』

— 戸 義 規 —

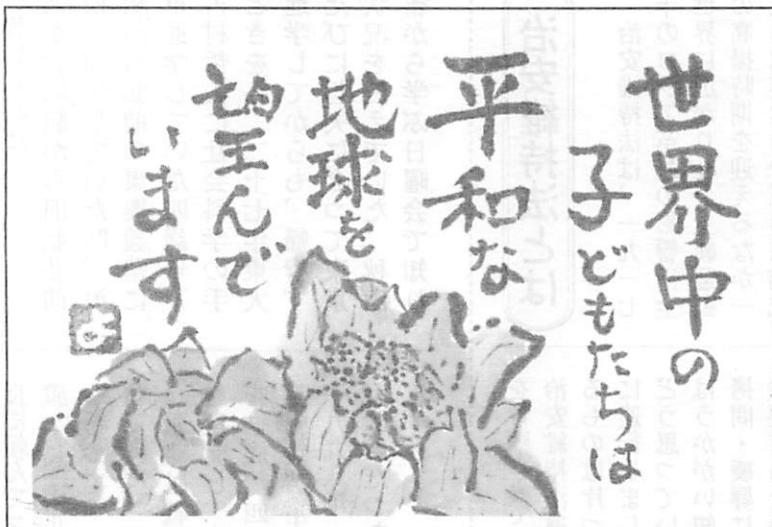
退職前の3年間、私は特別支援学級の学級担任と、1～3年の美術を担当していました。

尚治は校舎を描いていましたが、初めて壁にではなく、空の中に描かれていました。それは「空想画」のようでした。

「美術の時間」は週1時間しかなく、1年生は描画や彩色の基礎練習やモダンテックニックなどの創造的な表現方法を学んでいました。2年生についてからは「透視図法」を学び、5月頃から「風景画」に挑戦します。子どもたちは校舎の内外に散らばつて、自分の気に入つた場所でスケッチするのです。

尚治は校舎を描いていましたが、初めて壁にではなく、空の中に描かれていました。それは「空想画」のようでした。私は彼に窓があることを確かめましたが、尚治には「壁」と「窓」は別のある空間にあるもので、重ねることができないということが分かりました。そして学年の教師に、他の教科の時間の尚治の様子を聴き取りました。

絵 手 紙



この時から、尚治と私は少しずつ仲良しになつていきました。

な声も出る元
いうイメージ
だけでした。

までの尚治へ

私は特別支援学級にした
いが、おじいさんが世間
体を気にして、なかなか
決められないで今日まで
来てしまった」と、こ
れまでのことを話してくれ
ました。そして私が尚
か」を確かめることになり

来てくれました。私は母親に尚治の学校の様子を伝え、「尚治は普通学級にいることが困難なのに必死で過ごしている。特別支援学級を希望するか確かめたい…」と話しました。

私は2年生の教師と相談し、尚治の母に会つてみることにしました。間もなく尚治の母が学校に

昼休みや放課後にも、必ず顔を出すようになつていました。

私はこのことを母に伝え、「必要であれば私がおじいさんに会う」と言いましたが、母は「本人を入れて家

ました。次の日、尚治は「3年生からこの学級に来たいとはつきり言いました。



高校3年の時に、尚治
が木工作業でつくつてくれたハンドメイドの「調理ベラ」は、毎日のように我が家の台所で活躍しています。